

2022年7月6日
商工中金

BCP 対策に取り組む株式会社フリークアウト・ホールディングス様に対し、 災害対応型コミットメントライン契約を締結

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（副都心営業部）は、株式会社フリークアウト・ホールディングス様（本社：東京都港区、代表者：本田 謙様）に対し、災害対応型コミットメントライン（※）15億円を開設しました。

同社は、ネット広告のリアルタイム取引を日本で初めて事業化したマーケティングテクノロジー企業です。近年では同事業で培ったノウハウを活かし、動画・コネクテッドTV領域を中心とする独自広告配信プラットフォームを開発・運用する等、事業分野を拡大し、広告主及び媒体社（メディア）の価値最大化に貢献しています。

今回、同社は日本各地で相次ぐ自然災害発生時のBCP対策のため、大規模自然災害の発生等が金融機関の貸付不能事由になりうる一般的なコミットメントラインではなく、地震等の大規模自然災害発生時にも安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、大規模自然災害発生時においても顧客の要望に迅速かつ柔軟に対応できるよう、円滑な資金調達手段を確保して事業の継続性を高め、ステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、経営者や外部機関等へのヒアリング等を通じた事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。数多くの企業が同社のサービスを活用しており、災害時においても安定的なサービスの提供が行える体制を構築することが極めて重要と判断。同社のBCP対策の一環として、拠点を構える東京都下の災害に備え、災害発生時にも安定して資金調達が可能な災害対応型コミットメントラインを開設しました。

商工中金は、お取引先の課題解決に繋がる財務構造改革を支援しつつ、本業支援を行うことで、中小企業の企業価値向上を図り、地域経済の発展に貢献して参ります。

【災害対応型コミットメントライン契約（※）の概要】

コミット総額	15億円
契約締結日	2022年6月28日
コミット期間	2022年6月28日～2023年5月31日（更新OP4回）
特徴	東京都下における震度6弱以上の地震発生時や24時間降水量が100mm以上の降雨、最大瞬間風速40m/s以上の風の発生時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づく迅速な資金調達が可能。

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【株式会社フリークアウト・ホールディングス様の概要】

所在地	東京都港区六本木 6-3-1	資本金	35 億 5,205 万円
代表者	本田 謙様	従業員数	グループ計 496 名 (2022 年 3 月時点)
業種	広告・マーケティング業	設立	2010 年 10 月

(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。